

甲府市議会だより

第70号

昭和61年9月1日

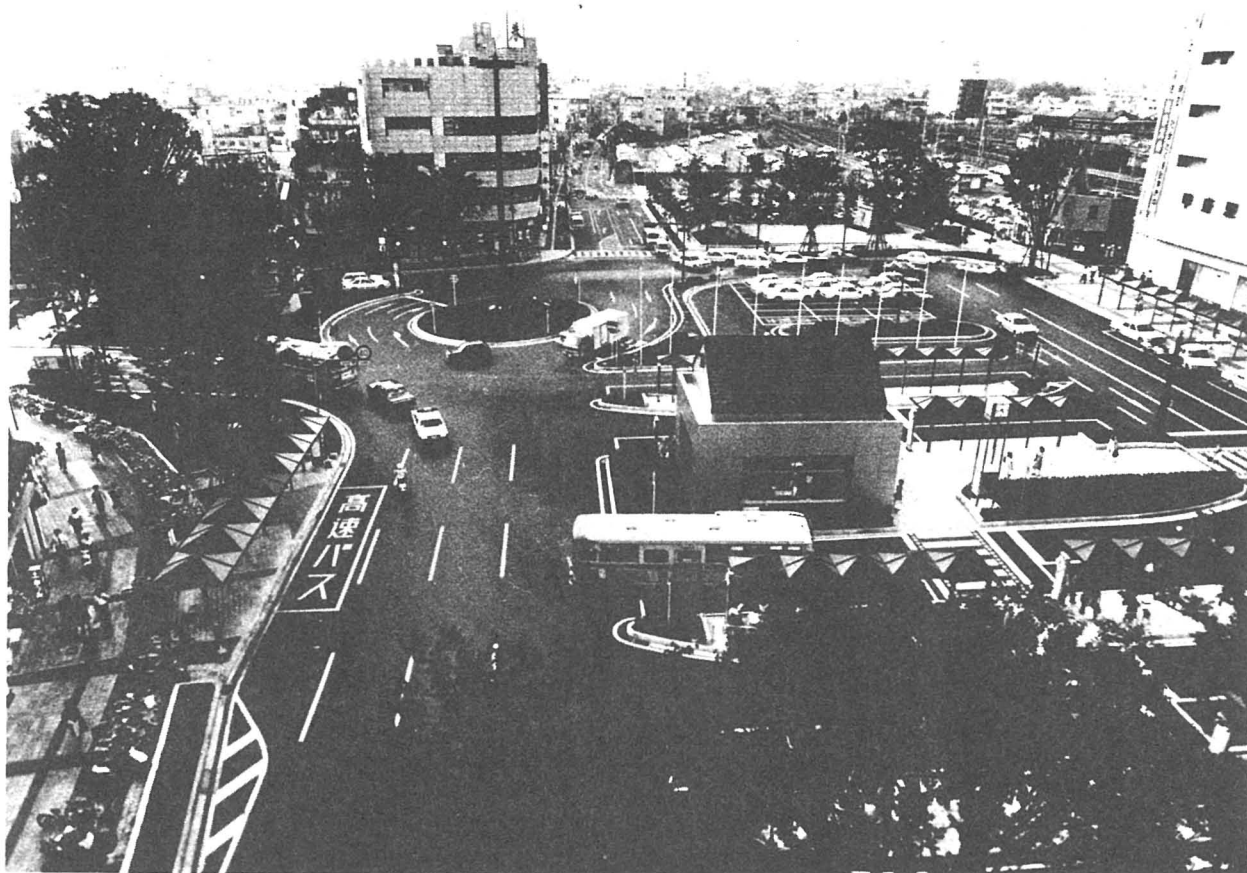
編集・発行

甲府市議会だより

編集委員会

電話 (35)7054

甲府市議会事務局



完成した駅前広場

教育研修所建設契約等 56案件を可決

6月定例会

七月十日に招集された、六月定例会は、会期を十二日間と決め市長から提出された補正予算、条例の一部改正、市道路線の認定、請負契約の締結等五十六議案について審議しました。一般質問は各党派を代表して早川武男（政友会）内藤秀治・飯沼忠（政和会）岡伸（社会党・市民連合）堀内征治（公明党）小沢政春（政友同志会）剣持庸雄（政新会）武川和好（日本共産党）の各氏が行い、市長等に答弁を求めました。最終日の本会議で昭和六十年甲府市一般会計補正予算及び甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について反対討論がありました。が、いずれも当局原案のとおり可決等されました。

また、最終日の本会議で副議長選挙、監査委員の選任、常任委員の改選、甲府地区広域行政事務組合議員並びに甲府市・玉穂町中学校組合議会議員の補欠選挙が行われました。このほか国への意見書提出、さらに昭和六十年甲府市各企業会計別決算の認定については「決算審査特別委員会」を設置し、閉会中継続審査することを決め七月二十一日閉会しました。

おもな内容・ページ

定例会要旨	1
議会の構成・副議長就任あいさつ	2
一般質問・定例会質問要旨	3
一般質問	4
一般質問・反対討論要旨	5
委員会審査の主な内容・請願・陳情の審査結果	6
議会を傍聴して・意見書	7
新常任委員の紹介	8

議会の構成決まる

副議長に福島 勇氏

本定例会最終日に、塩野褒明副議長、副議長選挙が行われ、指名推せんにより第七十八代副議長に福島勇氏（政和会）が当選されました。

また、議会における内部審査機関として、議案、請願、陳情の審査並びに調査を行うため、条例により設置をされている四つの常任委員会並びに議会運営に関する議長の諮問機関である議会運営委員会の構成が決まりました。

（福島勇氏の略歴）



就任あいさつ

甲府市議会副議長 福島 勇

私は、去る六月定例会におきまして全会一致のご推挙をいただき名誉ある甲府市議会副議長に就任いたしました。

議長とともに議会が公正にしてしかも円満に運営されますよう誠心誠意努力したいと存じます。さて、本市におきましては厳しい財政環境下にありますが、「活力ある健康都市・甲府」の実現をめざす各種施策が積極的に推進されております。

甲府市山宮町八六番地

市議会議員二期

建設経済常任委員会委員長、水道

常任委員会委員長、議会運営委員

会委員長を歴任、六十一歳

議会運営委員会 十三名

委員長 岡 伸

副委員長 牛 奥 公 貴

委員

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄

堀 口 菊 雄



中込孝文氏

監査委員に選出

※ 本市議会には四つの常任委員会があります。改選後の委員会構成は8ページをご覧ください。

宮島雅展 飯沼忠
飯島勇 堀内光雄
秋山雅司 小沢政春
内藤幸男

議会選出の監査委員堀口菊雄氏の辞任に伴い、新たに中込孝文氏を選任する議案が提出され、採決の結果、全員異議なく同意することと決まりました。

（中込孝文氏の略歴）

甲府市酒折二丁目二番十四号

市議会議員二期

総務常任委員会委員長、民生常任

委員会委員長、予算特別委員会委

員長を歴任、四十九歳。

甲府地区広域行政事務組合議員 補欠選挙

常任委員会の改選に伴い、三井五郎、齊藤憲二、小林康作、堀内光雄の各議員が辞任し、これに伴う補欠選挙が行われ、指名推せんにより、堀口菊雄、岡伸、秋山雅司、小沢政春の各議員が当選しました。

甲府市・玉穂町中学校組合議員 補欠選挙

常任委員会の改選に伴い、剣持庸雄、齊藤憲二の各議員が辞任し、これに伴う補欠選挙が行われ、指名推せんにより、岡伸、秋山雅司の各議員が当選しました。

甲府市制百周年記念事業促進に関する調査特別委員の変更

昨年九月に設置した甲府市制百周年記念事業促進に関する調査特別委員会委員の三井五郎議員が辞任し、後任に小林康作議員が決まりました。

決算審査特別委員会を設置

六月定例会に、「昭和六十年甲府市各企業会計別決算の認定について」が提出されました。議会は、七月二十一日の本会議で、これを審査するための「決算審査特別委員会」を設置して、委員十六名を次のとおり決め、閉会中継続審査とし閉会中委員会を開会、十二月定例会で審査結果を報告する予定です。



委員長 早川 光圀

副委員長 川名 正剛

委員

原田正八郎

野村 義信

依田 敏夫

鈴木 豊後

齊藤 憲二

中西 久

内藤 幸男

渡辺 静男

宮島 雅展

飯沼 忠

岡 伸

小林 康作

牛 奥 公 貴

武川 和 好

六月定例会 審議日程

7月10日(木)	開会・提案理由の説明
11日(金)	休会
12日(土)	休会
13日(日)	休会
14日(月)	本会議
15日(火)	質疑及び市政一般質問
16日(水)	本会議・質疑及び市政一般質問・各委員会付託
17日(木)	各常任委員会
18日(金)	総務委員会
19日(土)	休会
20日(日)	休会
21日(月)	本会議・各常任委員長報告・閉会

一般質問



6月定例会

六月定例会の一般質問は、七月十四日から三日間にわたって行われ、各党派を代表して八氏が市長の政治姿勢、円高・商工業振興対策、任意予防接種の無料化等、当面する市政の問題について活発な質問を展開しました。

その主な内容は次のとおりです。

原市長 再選出馬を表明

【問】市制百周年事業の推進、二十一世紀への活力ある健康都市づくりへ向けて、引き続き市政を担当する考えはあるか。

【答】私の政治姿勢についてのお尋ねですが、私の政治姿勢につきましても高い評価をいただき、かつ再選出馬への強い要請を賜り心から感謝申し上げます。私は昭和五十八年四月、市民の皆様方の御支持をいただき、第三十一代甲府市長に就任をして以来、今日まで、

二十万市民の生活と福祉向上のため懸命な努力をいたしてまいりました。

特に、私は、甲府市は市民のためにより、甲府市政は甲府市民とともに歩むべきものである。との政治理念のもと、市民党的な立場を堅持して、公正、清潔、誠実をモットーとして、市民の皆様の積極的な参加を得る中で、市民本位の市政の執行に万全を期してまいったところであります。幸い市議

会を初め市民の皆様方の温かい御理解と御協力をいただき、かいじ国体の開催、甲府駅の近代化、駅前広場の整備、教育及び福祉の施設の充実など着々と成果を上げることができました。この間、国庫補助金の削減など大変厳しい財政環境下ではありましたが、私は、市民も健康、町も健康を基本理念として、活力ある健康都市甲府の実現を目指し、積極的な施策の推進を図ってまいりました。いま甲府市に求められているものは、人口の高齢化、高度情報化、多様化などが急速に進展する中で、産業経済の活性化を図るとともに、福祉を後退させることなく二十一世紀を展望した人間性豊かで、快適な新しい町づくりを進めていくことであると思います。

私は、そのためには産業を振興し、資源の活用を図り、基幹道路の整備、歴史と文化の調和する都市基盤の整備、甲府国中広域都市圏構想、先端産業と地場産業の調和を図り、テクノポリス構想の推進、リニアモーターカーの建設促進など提唱し、その実現を図るとともに、六十四年に迎える市制百周年に向けて、市民の夢とアイデアを結集した記念事業への取り組みも急ぐ必要があります。この度市民の各界各層からの強い要請をいただき、心を新たに立候補の決意を固めた次第であります。

昭和61年6月定例会発言通告書

氏名	会派	発言の要旨
早川 武男	政友会	市長の政治姿勢について 今後の財政運営について 教育問題について（特にいじめ対策について）
内藤 秀治	政和会	財政調整基金について 市庁舎について 商工業の活性化について 下水道事業（議案第九四号・九六号）について
飯沼 忠	政和会	ゴミ・し尿の処理業務と環境行政について 高齢者の生活防衛と医療保障について 甲府地域テクノポリスと都市基盤整備について 北部山岳地域の振興計画と開発構想について
岡 伸	社会党・市民連合	市長の政治姿勢について 福祉行政について（老人福祉ほか） 教育行政について（山梨教育ほか） 商工、農業について
堀内 征治	公明党	甲府市のかかえる当面の課題とそれに対応について 都市開発と環境整備について 活力ある甲府市の人口増加対策について 任意予防接種の無料化について 緑化推進計画について
小沢 政春	政友同志会	都市計画と自主財源確保、人口増について 観光行政と地場産業育成について 動物園移転新設構想について 庁舎建設構想論について 小中学校新設と学区編成並びに非行防止について
剣持 庸雄	政新会	過疎対策について 都市街路と公園について
武川 和好	日本共産党	市長の政治姿勢について 円高対策について 「国体」と学校教育について

一般質問

二十四時間

運転を試行

—環境センター—

清掃工場—

【問】清掃工場の効率的な稼働のため二十四時間体制をとる考えはないか。

【答】環境センター附属清掃工場は現在二直制で、朝六時から夜九時まで、四炉を運転し、一日平均百五十トンのゴミを焼却している。これを三直制、いわゆる二十四時間運転することにより、焼却残渣率が低減され、最終処分場を



環境センター（清掃工場）

めて効率化が可能になると考えられている。そのため、ゴミ量の増加する八月中に試行運転を実施し各種の調査を行い、この結果をみて、二十四時間運転の実施を検討する考えである。

また、住吉清掃工場の老朽化対策についても三直制の中で考えた

—円高融資—

貸付利率の

再引き下げを検討

【問】中小企業に対する円高融資の利率引き下げを考へはないか。

【答】現在の急激な円高に対処するため、国におきましても中小企業等の厳しい現状に対し総合経済対策が決定されたが、本市においても内需を中心とした景気の維持拡大を図るため、内需の拡大策として、国県の公共事業の前倒し指導を受け、六月末現在、契約額で三十五億六千万円と、前年に比し八千万円上廻って執行されている。金融対策としては、四月一日から利率五・五パーセントを五パーセントに下げて対応しているが、県をはじめ関係機関と調整をとりながら、早急に再引き下げを検討する。

◇下水道事業促進◇

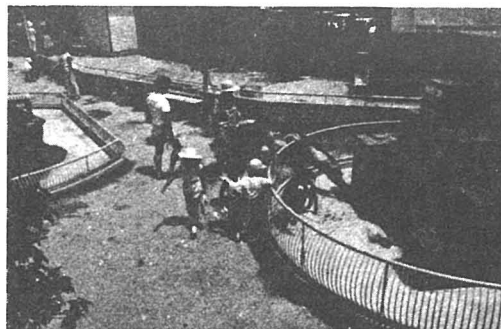
アクアトピアで
街に水辺を復活

【問】下水道事業の今後の見通しとアクアトピアの概要について示せ。

【答】下水道事業の今後の見通しについては、ご指摘のとおり補助率が年々下がっている。そこで甲府市のみならず、全国各都市で一斉に補助対象の拡大を求める運動がおこり、建設省に陳情した結果、本年度から一部小径管等も対象となった。従って単独事業で行う面整備も一部補助対象で行うことができるようになった。

また本年度はアクアトピアとして要望額より大幅な増額がみとめられ、見通しは若干明るいものと感じている。

アクアトピアについては、昭和六十年五月に建設省の指定を受けた。この指定を受けると事業を進めることにより河川等の汚濁のため姿を消した水性生物を甦らせるとともに、街の中で子供達が水遊びできる様な水辺を取りもどし、市民が憩を求めて散策できるような良好な水環境の復活を図ることを目的としており、一日も早い下水道整備の推進を図ろうとするものである。



動物園

動物園移転問題

第三次総合計画

で検討

【問】遊亀公園附属動物園は市街地の中にあり狭く環境も悪い、移転計画はないか。

【答】現在の動物園はできる限り市民に親しまれるよう努力しているが、理想的な動物園としての環境条件を満たしているとはいえない。

移転については、市民からの要望も寄せられており、財政事情、適地の選定等も踏まえて、第三次総合計画で検討したい。

任意予防接種

無料化の

実現を

【問】任意で行う予防接種を無料化する考えはないか。

【答】任意の予防接種については、本市の場合、日本脳炎、インフルエンザとも本人負担をお願いしてきたが、これは予防接種法に基づき実費徴収を行っているものである。今後は、厳しい財政事情の中ではあるが、類似都市の状況等も調査し、前向きに検討していきたいと考えている。



予防接種風景

国庫補助金削減

福祉への対応を 質す

質す

【問】社会福祉関係国庫補助金の補助率引き下げへの対応を示せ

【答】社会福祉関係の国庫補助金は昨年度の十パーセントカットに続き、本年度は、生活保護費の据置きを除き、身体障害者、老人、児童、精神薄弱者の保護費は、補助率十分の五にカットされ、その影響額は約七億五千万円と誠に大きなものである。このように厳しい状況ではあるが、福祉は後退させないという基本方針により福祉施策への影響を最小限に押える中で国庫補助金の削減分は当初予算に計上してある。今後も厳しい状況が続くものと思われるが、福祉の推進には万全を期す考えである。

高齢者・障害者対策に

福祉郷の

建設を図れ

【問】北部山岳地域に福祉郷を建設する考えはないか。

【答】高齢化社会が内包する課題については、国家的な問題として取り組み、種々対策が検討されているが、本市はこれらの課題に対する独自の対応を図るため、高齢者総合福祉計画、市民総合保健計画、障害者長期行動計画を策定し、高齢化社会に向けての指針としたところであるが、ご提言については、福祉三計画の指針と福祉村構想との関連の中で、今後十分に研究していきたい。

車両誘導システム

具体策を示せ

【問】テレポート事業としての車両誘導システムを今後どのように具体化するのか。

【答】市内の中心商店街の渋滞緩和と、駐車場不足の解消を図り、既存駐車場の有効利用を図るための方法として、昭和五十九年から検討をしてきたが、昨年はPR用ビデオを作成し駐車場関係者や商店街の皆さんの意識の啓蒙に努めてきたところであるが、本年三月郵政省のテレポートモデル都市に指定を受けたので、本年度は、システムの実施に向けて協議会を設置し、具体的な導入方法について検討に入る考えである。

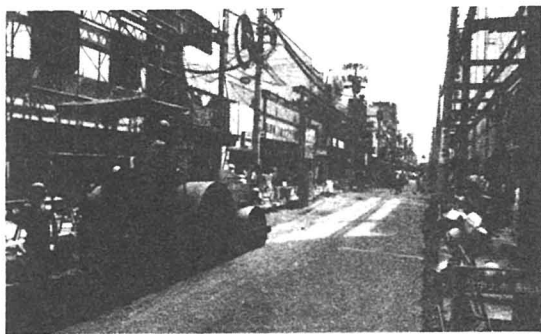
助成金要綱を

抜本的に見直し

―商工業振興対策―

【問】活力ある甲府市づくりのため商工業関係予算と組織体制の充実を図れ。

【答】市政執行の重点施策としての商工業の活性化については、六十一年度予算では、商工業振興事業に対する助成金要綱の抜本的見直しを行い、桜春日地区モータリ化事業に積極的に対応してきた、商工業振興関連の予算は、ハード面では、建設部をはじめ関連他部局予算に計上し商工業の活性化を図



モール化工事（春日町通り）

っているが今後もなお一層努力する考えである。なお組織における職員配置についても各事業の推進度合に応じて充実を図っていく。

◇ 姉妹都市交流 ◇

中国成都市への 早期派遣に努力

【問】姉妹都市との留学生の派遣、受入れについてどのように考えているか。

【答】姉妹都市への留学生、研修生については、昭和五十年から、フランスのポー大学フランス語学院への派遣、昭和五十五年度から、アメリカのデモイン市・ロダイ市への職員研修生の派遣を行ってきたところであるが、ご指摘のように今後の国際親善、友好交流を促進していく中で、それぞれの国の特色ある学術、文化の分野に、留学生、研修生を派遣し、その能力を開発していくことは意義あるものと考えている。

中国、成都市においても中国語、漢方医学、書道、絵画など多くの分野での留学生の受入れ体制を整えているとのことであり、今後、派遣条件その他具体的な事項について、協議を進めていきたい。

反対討論要旨

昭和六十年度甲府市一般会計補正予算及び甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について

同和事業である甲府市住宅新築資金等貸付事業が、その対象者百四十九人に対して、この六年間に貸付けが十六億五千万円あり、これまでに、返済すべき二億三千万円のうち、七千九百万円が未償還（償還率六十五・八パーセント）となっている。今回の補正は、昭和六十年度分の歳入不足のうち、五百七十万円、一般会計からこの会計に繰り入れることを市長が専決処分で行うというものです。この中味は、当局の説明では当年度の償還率七十パーセント、過年度の償還率十五パーセントと不当に低く見積っている、本来百パーセントでなければならぬ返済が一年たてば十五パーセントでよいというような事であれば、今後の返済はさらにとどこおると考えられる。このような積算方法を改めるとともに、法の主旨である属地主義にもとづく明るい事業に抜本的に改善するよう求め反対討論とします。

☆☆☆

委員会審査の

主な内容

七月十六日の本会議において、各委員会に付託された案件について審査した主な内容は次のとおりです。

総務委員会

◆業者指名には地域性も勘案

昭和六十年度甲府市一般会計補正予算・甲府市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算について、委員から貸付金元利収入の積算根拠について抜本的見直しと、法の趣旨に基づいた行政対応をすべきであるとの指摘がありました。

次に請負契約（市立里垣小学校屋内運動場増改築（建築主体）・市立貢川小学校屋内運動場増改築（建築主体）・市立富竹中学校屋内運動場新築（建築主体）・甲府市教育研究所建設（建築主体）の四工事）の締結について、委員から業者指名に当っては、地域性も勘案し選考するよう要望する意見が出されました。

陳情第八号の相生地区生活環境整備については、願意妥当と認め採択しました。

民生委員会

◆療養給付費交付金の追加

◇下水道工事は国体運営に支障を来たさないように
請負契約の締結について（貢川北第一幹線下水道管布設工事第二

工区・湯川第一幹線下水道管布設工事第四工区から第六工区）の四案について、委員から次のような要望意見が出されました。
一、下水道工事を進めるにあたっては国体の運営に支障を来たさないよう、綿密な施工計画を立てること。

一、下水道幹線の延長工事と並行して、積極的に枝線の整備を図り、地域住民の期待に応えること。

請願・陳情の審査結果

請願

採択されたもの

（総務委員会）

○大型間接税導入のとりやめを求める意見書提出（大型間接税導入反対山梨県民会議事務局長・中山淳子）

○大型間接税の導入をとりやめ、大幅減税等を求める意見書提出（全建設連山梨県建設組合連合会・甲府建築従事者労働組合組合長・宮原正則）

○就学援助制度の改悪に反対し、平和で民主的な教育を守ること（甲府生活と健康を守る会・盛本雄二ほか）

（総務委員会）

○就学援助制度改善・拡充（甲府就学援助をよくする会・甲府民主商工会々長・筒井昭治ほか）

○国家機密法制定反対の意見書提出（新日本婦人の会甲府支部支部長・田中八重子ほか）

いよう、綿密な施工計画を立てること。

（建設経済委員会）
○中小企業専任大臣設置（山梨県商工協会代表者・堀内道春）

陳情

採択されたもの

（総務委員会）

○相生地区生活環境整備（相生地区自治会連合会々長・田中新太郎ほか）

（総務委員会）

○市庁舎建設（甲府市自治会連合会長・市ノ瀬徳造ほか）

○国家機密法制定反対の意見書提出を求める請願採択（新日本婦人の会甲府支部支部長・田中八重子）

（民生委員会）
○駐輪場設置に関する条例制定（甲府商工会議所会頭・丸茂平造ほか）

表彰おめでとう

このたび、第五十二回関東市議会議長会並びに第六十二回全国市議会議長会の各定期総会において、内藤幸男、武川和好、小林康作、堀内光雄の四氏が議員として十五年以上在職し、地方自治振興のため尽力された功績に対し表彰され、六月定例会の冒頭、本会議場で議長から表彰状の伝達が行われました。

議会を傍聴して

愛宕町

今井 久子

九月二十五日、甲府市議会の一般質問を傍聴しました。議場は厳粛で議員さんたちがよく勉強されており、原市長さんをはじめ市の幹部が丁寧に答弁しているのを見て、一市民として安心しました。

この日はA議員とB議員が質問され、A議員は地震対策、北部地域の林業振興対策、ボランティア活動中の事故への救済対策、市道でない住宅地内道路の整備などが質問の中心でした。なかでも地震

のさいの夜間の避難訓練をついたのは、さすがだと思いました。訓練は昼間だけしか行なわれておらず、一方、地震は昼夜の別がなく、夜のほうも危険が多いのですから、当然夜間訓練が必要になります。

市長さんもその必要性を認め、自治会と連携して夜間訓練を進めたいと答えていました。

B議員は行革による国庫補助負担率引き下げによる市財政への影響、都市景観条例の制定、ごみ焼却場や、し尿処理場問題などを質問していましたが、都市景観条例は甲府の自然を守り、環境を整備

大型間接税導入の

とりやめを求める意見書

昭和六十二年度予算編成の過程で、政府の中から戦後税制の抜本的改正や財政再建の財源確保という名のもとに、大型間接税導入問題が急浮上してきました。

政府は、当面する財政危機打開の財源を大型間接税に求めるのではなく、まず各種の不公平税制の是正や、不要不急の歳出の削減に積極的に取り組むことが急務と考えます。

大型間接税は、どのような形式であっても大衆課税の性格を有し、物価高騰を招く恐れがあり、低所得者層に重い税負担を強いることになり、とりわけ中小企業に及ぼす影響は多大である

する上で必要だと思いました。

また、痴ほう性老人への介護手当の支給を考えなければならぬ問題でしょう、市側は「痴ほう性の判定が困難だ」として検討するといっていました。

市民総合保健センター建設については、地区ごとに専門の保健婦さんを置いて対応できる様にしたなどの答弁でした。

以上のように私達の身近な問題なので、検討などできるとまらず是非実行していただきたいと思えます。

相生三丁目

畑 千代子

九月二十五日、思いがけず市議会傍聴の機会を得、初めて議場へ入りました。しんと沈み返った中で、一般質問が開始されました。当日の一般質問は、地震対策、北部林業振興と能泉周辺利用について、ボランティア事故対策について、甲府昇仙峡線について、国庫補助負担率引き下げへの対応策、新ゴミ焼却工場の建設と一般廃棄物処分場整備事業、高齢者総合福祉計画と市民総合保健センター建設について等、盛り沢山の質問がなされました。それについて、市長、関係部局長の簡潔な答弁がありました。私達一般市民と一番密接な関係にあります市議会議員の皆様が私達市民の考えを代表し

て質問して下さっている事がわかりました。それに対し行政側としてもやはり、県・国との関連もある事なので思うように行かない面もあるが前向きに取組んでいる事もよくわかりました。北部山岳地域の振興と開発事業についての答弁でも、すでに五十八年度から計画しているそうです。

高齢者総合福祉計画と総合保健センター建設についても関係機関等と話し合っ決めていくとの答弁がありました。寝たきり老人の入所施設も十人に一人の割合しか入所出来ない現状と老人家庭奉仕員も十二名しかない現状に対し、行政側では調査し家庭奉仕員をふやしたいと考えているとの答弁がありました。高齢化社会に向けて、私達一般市民が安心して暮らせる良い街づくりを進めて下さる市長はじめ代表者の方々をお願いすると共に、市民も協力していかねければならないと痛感している次第です。来年はいよいよかいじ国体です。駅ビルも完成し商店街の動きも活発化する事を願いながら、益々甲府市が発展する事を望んでおります。

今回市政モニターとして、議会傍聴をさせて頂きましたが、大変良い勉強になりました。これから多くの市民の方も機会がありましたらぜひ傍聴される事をお勧め致します。

議会日誌



4月

15日 建設経済委員会(懇談会)

5月

6日 建設経済委員会(懇談会)

9日 甲府地区都市構想に関する調査特別委員会

19日 水道委員会(懇談会)

21日 建設経済委員会(現地視察)

22日 民生委員会

30日 民生委員会(現場視察)

総務委員会(懇談会)

6月

7日 建設経済委員会(懇談会)

10日 甲府地区都市構想に関する調査特別委員会

13日 各会派代表者会議

14日 建設経済委員会(懇談会)

16日 甲府地区都市構想に関する調査特別委員会

7月

8日 議会運営委員会

9日 議会運営委員会

10日 六月定例会

15日 各会派代表者会議

編集後記

今回の市議会だより七十号は、六月定例会の概要であります。主に議会の役員改選の状況についてお知らせしました。

新常任委員の紹介

(昭和61年 7月21日改選)

次の部・室に属する事項を審査する

一 社会部（地域振興課及び社会課を除く）

二 福祉部

三 環境部

四 市民部（国民健康保険課を除く）

五 市立甲府病院



副委員長
川名 正剛
西田町5-43-1
政友会
☎52-2532



委員長
村山 二永
古上条町398-1
政和会
☎41-3705



委員
小林 康作
愛宕町196
公明党
☎53-0982



委員
斎藤 憲二
富竹二丁目8-16
社会党・市民連合
☎26-3336



委員
宮島 雅展
友町15-4
政和会
☎26-5048



委員
三井 五郎
東光寺二丁目21-11
政友会
☎35-0903



委員
森沢 幸夫
千塚四丁目1-8
政新会
☎52-0013



委員
清水 節子
伊勢四丁目21-1
政友同志会
☎35-6510



委員
堀内 征治
宮原町39-8
公明党
☎41-8886

民生委員会 (現員数 九名)

次の部・室に属する事項を審査する

一 市長室

二 技術管理室

三 企画部

四 総務部

五 市民部（国民健康保険課を除く）

六 社会部（地域振興課及び社会課を除く）

七 国体事務局

八 会計室

九 教育委員会

十 選挙管理委員会

十一 公平委員会

十二 監査委員会



副委員長
千野 峰
湯田二丁目6-2
政友同志会
☎35-3827



委員長
秋山 雅司
千塚四丁目7-20
公明党
☎51-1618



委員
福島 勇
山宮町86
政和会
☎52-2701



委員
上田 英文
下館治屋町994
政和会
☎41-6600



委員
原田 正八郎
太田町9-15
政友会
☎37-3191



委員
早川 武男
善光寺三丁目2-8
政友会
☎32-1222



委員
岡田 修
国母七丁目6-7
日本共産党
☎26-1838



委員
剣持 庸雄
羽黒町1390
政新会
☎52-5391



委員
岡 伸
上町1484
社会党・市民連合
☎41-3722



委員
鈴木 豊後
池田三丁目10-28
社会党・市民連合
☎51-5080

総務委員会 (現員数 十一名)

一 水道局

二 下水道部

次の部・室に属する事項を審査する



副委員長
飯沼 忠
山宮町1530-20
政和会
☎51-1430



委員長
長辺 昭哉
千塚四丁目5-19
政友会
☎53-1153



委員
飯島 勇
大手一丁目3-4
社会党・市民連合
☎52-6758



委員
内藤 秀治
飯田三丁目10-16
政和会
☎22-9093



委員
野村 義信
朝気三丁目21-11
政友会
☎33-9683



委員
堀口 菊雄
国母五丁目3-35
政友会
☎26-5843



委員
小沢 政春
国母八丁目4-15
政友同志会
☎22-5473



委員
中西 久
美咲一丁目2-11
政友同志会
☎51-3109



委員
堀内 光雄
青沼一丁目2-22
公明党
☎35-6437

水道委員会 (現員数 九名)

次の部・室に属する事項を審査する

一 経済部

二 建設部

三 都市開発部

四 中央卸売市場

五 農業委員会



副委員長
渡辺 静男
相生二丁目7-24
政友会
☎33-9382



委員長
依田 敏夫
上石田三丁目2-26
政和会
☎22-2356



委員
中込 孝文
酒折二丁目3-5
社会党・市民連合
☎32-5383



委員
小林 匡
塩部二丁目7-13
社会党・市民連合
☎53-4786



委員
塩野 褒明
新田町15-5
政和会
☎22-5268



委員
小沢 綱雄
青沼二丁目5-7
政友会
☎35-1476



委員
武川 和好
横根町84-5
日本共産党
☎35-3705



委員
内藤 幸男
塩部三丁目2-23
政新会
☎52-9185



委員
牛奥 公貴
善光寺三丁目33-32
政友同志会
☎35-5851



委員
早川 光圀
宝二丁目26-9
公明党
☎22-8210

建設経済委員会 (現員数 十一名)